



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



七夕

1995
7

No.351

平成7年7月7日
金木幼稚園

太宰にふさわしく雨の中の

第47回 桜桃忌

県内外から参列

金木町が生んだ作家太宰治の第四十七回桜桃忌が、六月十九日、雨の降る芦野公園太宰文学碑前でしめやかに終わりました。



献花に傘の列をなす参列者

この日は、あいにくの強い雨が降り続いたにもかかわらず、正午から行われた献花には、県内外から二百人を超える太宰ファンが参列しました。献花に先立ち田中町長が、「雨の中多くのファンが足を運ばれ、今なお太宰が愛され

ている証拠。」と挨拶。続いて太宰の長女、津島園子さんが、「太宰が亡くなった日も雨でした。太宰にふさわしい雨と思います。多くの人にしのんでいただき、語り継がれていくのをありがたく思います。」とお礼を述べました。

文学碑には、最初に名川町のサクランボ娘により、太宰の好物のサクランボが捧げられ園子さんや関係者、ファンが次々にシャクヤクやボタン等の花を献花しました。東京都のフリーライターの中島さんは、「十年來のファンで今回初めての参列。前日は斜陽館に泊り、太宰の世界に浸りました。」と感激していました。

桜桃忌に花を添えた「三人展」

参加者は献花の後、芦野公園近くの櫻庭利弘美術館で、今回初めて行事に組み込まれ



『三人展』に出品した右から柴田さん、津島さん、櫻庭さん



田中町長による挨拶

ることになった櫻庭利弘さん、津島園子さん、柴田みち子さんによる、油絵「三人展」を見学。

『太宰のモニュメント』竣工式



完成したモニュメント「津軽」

「太宰のふるさとづくり事業」の一環として総事業費約五千万円で、平成六年十一月から金木消防署前の国道三三九号と町道の分岐点に設置、三月に完成しました。完成したモニュメントは高さ九mのアルミ製で太宰の小説「走れメロス」をイメージ

しました。会場を斜陽館に移して「太宰をしのぶ会」が開かれ、金木高等学校一年生の佐野美由紀さんと鳴海真梨子さんの二人による「黄金風景」の朗読や参加者それぞれの太宰の想い出を語り合いました。

『津軽』 観光のシンボルに



田中町長、津島さんらによる除幕

「太宰のふるさと金木町」を表すシンボル塔として、観光モニュメント「津軽」を建設、完成したことから六月十四日、竣工式が行われました。モニュメントの前で行われた竣工式には、田中町長や津島園子さんから関係者約六十人が出席。引き続き、中央公民館で行われた祝賀会で田中町長が「町の歴史、文化のシンボルにしたい。」と挨拶。津島さんは、「立派なモニュメントを作っていたら、遺族を代表して感謝します。金木町が一層魅力のある町になることを祈ります。」とお礼を述べました。

太宰人気 今だ 衰えず

三人は、昔からの知り合いで、絵画展を開くきっかけについて「二年前にお二人に声をかけた。やるんだと思ったら桃忌に花を添える形にしたかった。」と櫻庭さん。

今回は、櫻庭さんは「海」、津島さんは「桜桃忌に寄せて」、柴田さんは「二十年を振り返って」をテーマに各自七点づつ出品。「皆様にお目にかけて

られるよう、来年も又、やれたい」と三人で話していました。

太宰をしのぶ

引き続き午後二時半から中央公民館で、鳥居邦郎・武蔵大学教授による「金木発・戦後日本へのメッセージ」と題して講演。三時半からは、



朗読をする(右)鳴海さんと(左)佐野さん

会場を斜陽館に移して「太宰をしのぶ会」が開かれ、金木高等学校一年生の佐野美由紀さんと鳴海真梨子さんの二人による「黄金風景」の朗読や参加者それぞれの太宰の想い出を語り合いました。

まちめでギョウゼ

喜良市小

シイタケ栽培

六月十二日、喜良市小学校（校長 坂本幸隆）で、五、六年生の四十九人が「シイタケ栽培作業」を行いました。今年で二年目を迎えるシイタケ栽培は、児童達がシイタケを育てることで自然を愛する心を養って欲しいと始められたものです。

昨年、北地方農林事務所の指導の下行われた「シイタケ栽培体験学習」で、一度の植菌でシイタケが五、六年実を付けるそうで、今年は、二日前から水に浸す、ホダ木上げの作業を先生と児童だけで行いました。ホダ木上げを終えたシイタケの木には各自の児童の名前を付けました。去年より大きく実ったシイタケが期待出来そうです。



シイタケがいつぱいつくといいな

町中をきれいに

— 金木老人クラブ —



金木町老人クラブ連合会では、（会長 木村不二男）六月二十三日の早朝、老人クラブの事業の一環として町内全域の清掃を行いました。清掃は、およそ一時間三十分にあたり

町内の主要道路に沿って行われ、この日集まった五百人は、三人から四人のグループに分かれ空き缶や紙くず等を一つ一つ丁寧に拾い集めました。ゴミの中でも、車からの空き缶のポイ捨てが多いと見られています。同じ捨てるならきちんとゴミ箱へ捨てましょう。

元気であらう

けっぱれ



- ▶ 職業 青森駐屯地 防衛庁職員
- ▶ 氏名 福士 麻起子
- ▶ 年齢 25歳
- ▶ 出身地 金木町川倉
- ▶ 家族構成 夫・長男・次男

広報かなぎをご覧の皆さんこんにちは。私は、陸上自衛隊青森駐屯地で防衛庁職員として勤務しております。今年三月迄は、婦人自衛官で通信業務に携わっていました。自衛官だった頃は、女性も男性も同じ仕事をするということで大変な面もありましたが、逆に男女の差別なく、対等に仕事ができるという点では、とてもやりがいのある職場でした。また、自衛官でなければ出来ないことをたくさん出来て、いい経験となりました。在職中に結婚し二人の男の子を出産しました。生後二ヶ月で、保育園へ預けながらの仕事は大変でしたが、周りの方々に助けられながら、今日までやってこれました。何より子供には寂しい思いをさせたいと思います。（しかし、今年では保育園の方が楽しいようです。）

今年、四月から防衛庁職員として電話の交換勤務をしております。顔も見えず声だけの仕事ですので、親切丁寧なサービスをいつも心掛けて、自衛隊の窓口として毎日張り切っています。今の仕事が好きですので、定年まで頑張っていきたいと考えています。

今年、育児や家事の合間を見て趣味のジョギングを再開してみようかと思っています。

《ふれあい昼食会》&《金木町連合婦人会芸能大会》を堪能

町と町社会福祉協議会（会長 角田正男）、町連合婦人会（会長 福山初枝）が、六月十六日、一人暮らしの老人や老人クラブ、サントピアホームの皆さん等に楽しい一時を過ごしてもらおうと、「ふれあい昼食会」と「金木町婦人会芸能大会」が中央公民館を会場に開かれました。

芸能を楽しんでいただく「い」とあいさつ。この後、招待された二百人は、町連合婦人会や町日赤奉仕団の協力を得て一つ一つ丁寧に手作業で作られた温かい「ふれあい弁当」に舌鼓を打ちながら、金踊会や桜の会による六曲のカラオケ、十七曲の踊り等二十七曲を堪能しました。



食い入るように見つめて

健康を考えた『朝食サービス』（嘉瀬地区）



おいしい「朝食」だったそうです

六月十六日、「胃がん検診基本健診」が嘉瀬公民館で行われ、受診した方全員に食生活改善推進員会（会長 青山ユキ）から朝食サービスが振る舞われました。

日頃から、食生活改善推進員会では、町民の皆さんの食生活を見直してもらおうと広報に連続掲載する等活動をしてきました。今回、検（健）診を機会に嘉瀬地区の皆さん

に直接味わってもらおうと、前日の下ごしらえから当日の仕上げと二日かけて準備。

この日受診された百八十名は、思わぬ朝食サービスに大喜び。普段より塩分を控えてあることを告げると「全然気にならない。調理次第でおいしくいただける」と話し、用意した二百十食を平らげました。同メニューは、今回のヘルシーメニューに掲載。

暮らしのツボポイント

野外で距離を測るのに、メジャーなどの測る道具がなくて困ったことはありませんか。こんなときに役に立つのが歩測や目測です。

歩測とは、歩いた歩数で距離を測ることです。ゴルフ中継で、ゴルフアークグリーン上でボールからカップまでの距離を歩いて測っている光景を見たことがあると思います。これが歩測です。事前に自分の歩幅を測って覚えておき、おおよその目安にしているのです。男性の場合、普通に歩いて歩幅は六十七センチぐらいです。一歩でなく、二歩分の歩幅で覚えておくのがポイントです。「イチチニイ、イチチニイ」と数えれば、誤差も少なくなります。

体をものさしに、物を目安に

野外で試そう歩測や目測

野外で道に迷ったときに、方角を知る方法も覚えておきたいものです。木々の茂り具合を見て、木の葉や枝の茂みが濃い側がおおむね南です。これは、太陽の光を求めて木々が葉や枝を広げるからです。分かりにくい場合は、遠くの山の木々を見て判断します。さらに、木の切り株を調べ、年輪の間隔が広ければ南ということができます。

腕時計を使って、方角を知ることできます。腕時計を地面と水平にし、太陽に短針を向け、文字盤の十二時の方向と短針との中間が南の方角に当たります。こうした身近な方法で、野外で距離や方角を測ってみませんか。

目測とは、目分量で長さや高さ、広さを測ることです。ここでは、長さを測ってみましょう。視力一・二の人で、遠くにいる人の服の色が分か

るのは五百メートルぐらい、手を振っているのが確認できれば、四百メートルぐらいの距離です。近いところでは、相手の目がはっきりと見えれば五十メートルぐらい、目が見えるなら百メートルぐらい、顔が見えれば二百メートルぐらいの距離です。



町民健康マラソン

270人健脚競う

七月一日、金木高等学校を発着点とする第十二回町民健康マラソン大会が開かれ、金木町に居住又は勤務する二百七十名が参加し、選手たちは心地良い汗を流していました。大会は、各種目別に分かれ町内の路上コースで順次行われ、応援のため会場に駆け付けた家族から、「がんばれ」の熱の入った声援が送られていました。一般の部では、青森県民駅伝競走大会の選手選考会を兼ねていることもあり、

『よ〜い どん』緊張の一瞬

マイペースで走る人、新記録を目指す人と様々。また、第一回健康マラソンからの連続出場選手で今大会中最高齢の工藤勇蔵さん(66才)もさっそうとした走りを見せ無事完走しました。参加者全員に記念品各種目十位までメダルが贈られました。上位入賞者は



あと、もう少しでゴールだ!

- ◎小学校低学年(男子) 一km
 - 一位 岡田 大輔(喜良市小)
 - 二位 工藤 和紀(川倉小)
 - 三位 高橋 一喜(嘉瀬小)
- ◎小学校低学年(女子) 一km
 - 一位 飯塚 緑(嘉瀬小)
 - 二位 泉谷由季香(川倉小)
 - 三位 田中 麻耶(嘉瀬小)
- ◎小学校高学年(男子) 二km
 - 一位 伊藤 良三(嘉瀬小)
 - 二位 泉谷 和亮(川倉小)
 - 三位 工藤 章仁(嘉瀬小)
- ◎小学校高学年(女子) 二km
 - 一位 秋村 優子(嘉瀬小)
 - 二位 原田 裕子(嘉瀬小)
 - 三位 中谷 香織(川倉小)
- ◎中学校(男子) 四km

- ◎中学校(男子) 四km
 - 一位 菅原 浩(金木中)
 - 二位 原田 晃(金木南中)
 - 三位 其田 匡則(金木中)
- ◎中・高校(女子) 三km
 - 一位 小山内良恵(金木中)
 - 二位 西澤 祥美(金木中)
 - 三位 荒関 香織(金木中)
- ◎高校・一般(男子) 五km
 - 一位 三上 淳之(金木)
 - 二位 棟方 美暢(嘉瀬)
 - 三位 鳴海 隆弘(金木)
- ◎一般(女) 二km
 - 一位 中谷すみ子(川倉)
 - 二位 白川美保子(金木)
- ◎一般四十歳以上 (男子) 五km
 - 一位 工藤 勇蔵(金木)
 - 二位 伊藤 一弘(金木)



10位まで入賞者には、メダルが手渡された

あなたの善意
ありがとうございます
ございました
(敬称略)

▼金木町へ

荒関勝康 (神明町)

三〇〇 〇〇〇円

西北五LPガス協会青年部

ゴミ箱二個

(一個七万円相当)

趣旨に沿うよう大切に使用させていただきます。

有難うございました。

7月山開き・川開き



落雷にご注意

(財)東北電気保安協会